「Girls Meet STEM」開催レポート

発酵スキンケアができるまで 開発現場の最前線を体感

開催日　2026年7月22日
場所　東洋発酵　本社・中央研究所（愛知県大府市）









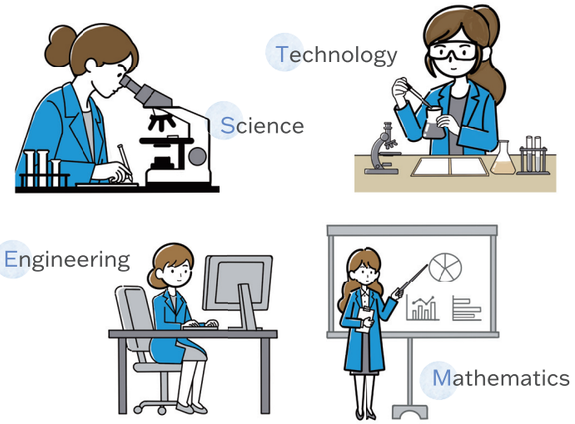
発酵のメカニズムに触れ、STEM分野への興味を深めた参加者。輝く女性社員の姿が、未来の選択肢を広げる。

東洋発酵は、化粧品や健康食品の分野で独自の発酵技術による機能性素材の開発・製造を行う。当日は研究所内で化粧品開発や原料開発の最前線を見学。微生物による発酵の実演や化粧品の香料調合といった体験に、参加した15人の女子中高生は目を輝かせていた。研究開発に携わる女性社員との座談会では、仕事でのやりがいや文理選択の理由をはじめ、日頃の学び方やモチベーションの保ち方に至るまで活発な対話が行われた。参加者にとって将来の進路を具体的に描く貴重な機会となった。

●その他企業での実施例
小島組／「船に乗って学ぶ！名古屋港ってどんなところ？」
エイチームホールディングス／「ITのお仕事ってどんな感じ？未来の選択肢が広がるIT企業ツアー」
ジャパン・ティッシュエンジニアリング／「iPS細胞などの再生医療の最前線で、見て、触れて、学ぼう」

女子中高生向けのキャリア教育

STEM分野で活躍する女性のリアルに触れ 将来の進路選択を支援

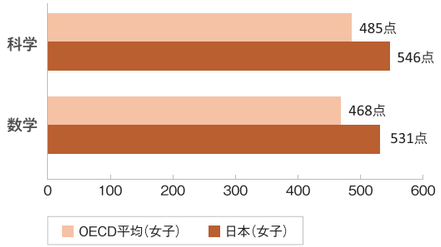


理工系分野に対するアンコンシャス・バイアスの解消に向けて

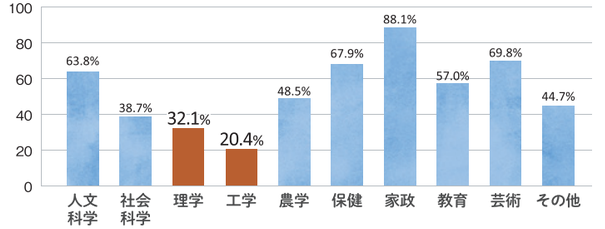
2022年にOECD（経済協力開発機構）が行った学力調査（PISA2022）によると、日本の女子の15歳時点での科学と数学のスコアはそれぞれ546点と531点であり、OECD加盟国の平均を大きく上回る高い水準にある（図1）。一方、大学の理工系学部・学科に入学した女子の比率はOECD加盟国の平均より極めて低い。過去5年で理工系学部へ入学する女子は増加傾向であるものの、25年の入学者数を見ても依然として低調だ（図2）。その背景には、「理系は男子、文系は女子が得意」といったアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の存在や、ロールモデルの少なさが指摘されている。

23年に文部科学省が発表した「女性理工系進学者等を巡る状況調査」によると、理工系女性は業務内容、専門性やスキルアップ、年収・待遇、ワークライフバランスなどの仕事への満足度が理工系以外女性や理工系男性に比べ高い傾向が示された。また、理工系の進路を意識した時期は高校3年が最多で、次いで中学時代だった。理工系分野における女性の活躍促進に向けて、中高生の段階から理工系分野に触れる機会を増やして興味を持たせることや、活躍する女性のロールモデルを示すことが将来のキャリアを描く上で重要といえよう。

（図1）女子の学力国際比較（PISA2022）



（図2）2025年大学（学部）学生に占める女子学生の割合



※文部科学省「学校基本統計　関係学科別　大学入学状況」（令和7（2025）年度）より作成。

※Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の4つの英単語の頭文字を組み合わせた教育用語

理工系分野の女性応援事業「Girls Meet STEM」を県内15社で実施

製造業など「ものづくり」産業が集積する愛知県において、STEM（※）分野に女性をはじめとする多様な視点を取り入れることは、企業の持続的な成長やイノベーション創出に不可欠だ。本年度策定された「あいち男女共同参画プラン2030」の基本的施策でも、就業環境の整備・女性への就業支援を掲げており、デジタル分野や理工系分野におけるスキルアップの機会提供や、リスキリング（学び直し）などの支援を進める方針だ。さらに、「あいち女性の活躍促進プロジェクト」では、新たに理工系分野の女性応援事業が始動し、将来を担う女性技術者・研究者の育成支援に力を入れる。

6月には、愛知県と公益財団法人山田進太郎D&I財団、愛知県経営者協会が全国初となる経済団体を交えた連携協定を締結。同財団の「Girls Meet STEM事業」と連携し、県内の中高生向けに出前講座を行うほか、7～8月の夏休み期間には県内15社でSTEM領域のツアー型体験プログラムを開催する。生徒が実際の現場に触れ、活躍する女性社員と対話することで、理工系キャリアの具体的なイメージを育む機会を提供する。理工系分野への固定観念や性別役割分担意識を払拭し、理工系への進路選択を後押しすることにより、将来的な女性の職域拡大や地域産業の活性化につなげるのが狙いだ。



あらゆる分野で活躍する女性の声を発信する「あいち女性の活躍促進応援サイト」

さまざまな分野で活躍する女性社員へのインタビューをはじめ、女性活躍推進に向けた企業向けイベントやセミナーの情報を発信中。あいち女性輝きカンパニーの申請手続も可能だ。（https://jokatsu.pref.aichi.jp）